検査項目の基準値等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 検査項目 | 基準値 | 単位 | 検査結果の見方 |
| 白血球数 | 3.3～8.6 | 10３/μL | 炎症性疾患の診断、経過観察のための検査です。また、白血病などの血液疾患の診断にも重要です。 |
| ヘモグロビン | 男 13.7～16.8 | g/dL | 貧血、多血症などの診断・経過観察をするための検査です。 |
| 女 11.6～14.8 |
| 血小板数 | 158～348 | 10３/μL | 出血傾向や血栓症の診断のための検査です。 |
| PT-INR | 0.88～1.10 | － | 血液の凝固能を示す指標です。 |
| AST | 13～30 | U/L | 肝臓や心臓、筋肉、赤血球に含まれる酵素で、これらの臓器などに異常があれば数値が上昇します。 |
| ALT | 男 10～42 | U/L | 肝臓に含まれる酵素で、肝臓に障害があると肝細胞が壊れて血液中に流れ出るため、数値が上昇します。 |
| 女 7～23 |
| T-Bil | 0.4～1.5 | mg/dL | 肝臓や胆管などに障害が生じると、ビリルビンが増加して黄疸が起こります。 |
| CK | 男 59～248 | U/L | 筋肉に含まれる酵素です。心筋や筋肉の障害により異常値を示す場合があります。 |
| 女 41～153 |
| CRE | 男 0.65～1.07 | mg/dL | 老廃物の一種で、腎臓の排泄機能が低下すると血液の中に増えてきます。 |
| 女 0.46～0.79 |
| eGFR | － | mL/分/1.73m2 | 腎臓の中の糸球体が１分間に濾過している血液の量をあらわし、この値が低いと腎臓の働きが悪いということになります。 |
| Ｋ | 3.6～4.8 | mmol/L | 血液中のカリウムの濃度です。 |
| CRP | 0.00～0.14 | mg/dL | 炎症や組織障害の指標です。 |
| HｂA1c(N) | 4.9～6.0 | ％(NGSP) | 高血糖をきたす各種の糖代謝異常を疑う場合および病態の経過観察、特に糖尿病の治療で血糖コントロールの指標の一つとして利用されます。 |
| ＵＡ | 男 3.0～7.0 | mg/dL | 痛風を調べる検査です。尿酸は細胞の燃えかすで、プリン体からできており、通常は尿と一緒に排泄されます。 |
| 女 2.5～6.0 |
| LDL-C | 70～139 | mg/dL | 悪玉コレステロールです。 |
| TSH | 0.35～4.94 | μIU/mL | 甲状腺刺激ホルモンで、甲状腺系の調節に重要な役割を担っています。間接的に甲状腺機能を評価する指標になります。 |